

ロードサイド商業がまちを守る

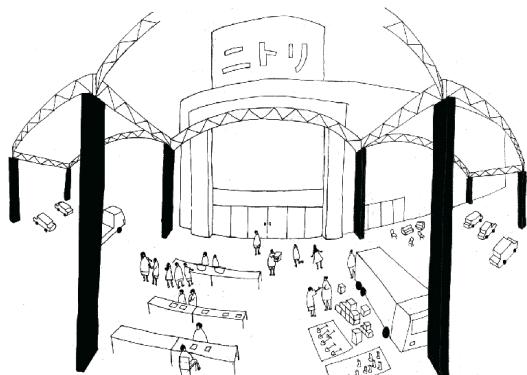
—ロードサイド型店舗の改築による災害拠点の創出とまちづくり—

横浜国立大学 建築都市・環境系学科

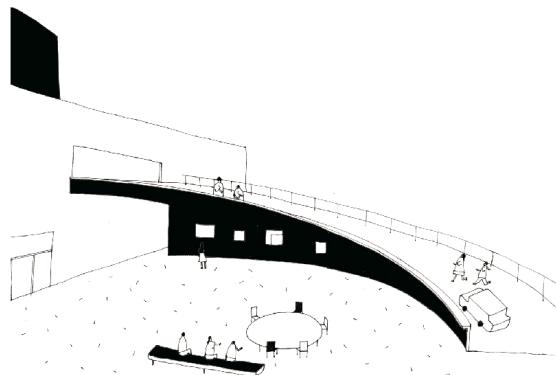
名前 瀬川 未来



私は「資本のための大型店舗」を「地域のための災害拠点」に変えるために5つのルールを作る

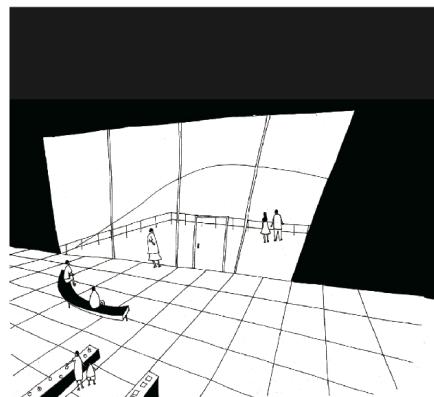


1. 大屋根

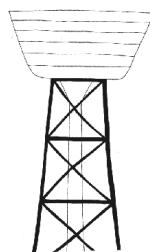


2. 大きなスロープ

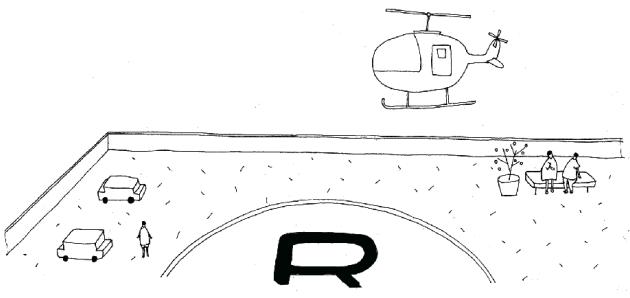
このルールは日本の多くの郊外の風景を変え、災害から多くの人を救う可能性を持っている



3. 地域を見る窓



4. 給水塔



5. 屋上公園

設計主旨 concept

ロードサイド商業は近代化により広まり、日本の郊外の風景を壊してきたと言われている。しかし日本のあらゆる地域にある、**大きく目立つ建物**だからこそ、災害の多い日本の多くの地域を守ってくれるポテンシャルを持っている。

敷地は広島市安佐南区緑井・梅林・八木地区。2014年に大きな土砂災害があった地域。立体駐車場付きのメガ店舗に**5つの附置義務**を設けることによって4つのメガ店舗を災害からこの街を守るものへと変化させる。

新しく災害のための建物を作るだけでなく、今あるそのロードサイド商業のポテンシャルを伸ばすこと、その**新しい合理性**と**価値の逆転**が多くの人々を救うかもしれない。